



たまき 社協だより

2026.5 No.98

編集・発行 社会福祉法人 玉城町社会福祉協議会
〒519-0433 玉城町勝田4876番地1
TEL 0596-58-6915 / FAX 0596-58-6916
ホームページ <http://tamasya.or.jp/>
E-mail tamasya@amigo2.ne.jp

玉城町社協理念 ～笑顔広がる 人づくり 地域づくり つながりづくりの実現に向けて～

第24回 玉城町社会福祉大会



第24回 玉城町社会福祉大会

令和8年2月11日、社会福祉の向上に貢献された方々の表彰、福祉の作文・標語の表彰発表や、福祉協力校の活動発表など、広く市民の方々へ福祉の啓発を行うことを目的とする社会福祉大会を玉城町保健福祉会館で開催しました。

第2部には、エフピコダックス株式会社代表取締役岩井久美氏をお招きし、「うちの子は「ハタラク」ができますか？」をテーマにご講演いただきました。福祉の標語は「つながり(たすけあい)」をテーマに募集しました。福祉の標語は応募総数1,000点を超え、入選した標語は6ページに掲載しています。

なお、福祉協力校の発表等の大会の様子はYouTubeで配信中ですので、是非ご覧ください。玉城町社協もYouTubeチャンネル登録をお願いいたします。

YouTube / 玉城町社協

〈チャンネル登録方法〉



- ① 二次元コードを読み込む
- ② 「チャンネル登録」をクリック



クリック

この広報は、社協会費によって発行しております。

令和8年度 社会福祉法人玉城町社会福祉協議会 事業計画

理念 笑顔広がる 人づくり 地域づくり つながりづくり の実現に向けて

事業方針

本会は、「笑顔広がる 人づくり 地域づくり つながりづくり」の実現に向けて」を基本理念に、町民をはじめ地域の多様な主体と連携し、様々な事業に取り組んでいます。

今日、国内の人口減少と働き手の減少を見据えると、地域の支え合いの形がより深化しようとしています。中でも増え続ける身寄りのない高齢者支援は大きな社会課題となっており、支え手として社会福祉協議会や他の社会福祉法人への期待も高まっています。しかし、実態は、社会は変化しているのに支援の構造が変わっていないことから、今ひずみが生まれていることも浮き彫りになっています。

このほか、本町にも複合的な生活課題、地域コミュニティの希薄化、子育てと貧困など地域福祉課題は多様化し、地域性や社会変動を反映して常に変化しています。

このため、これらの複雑・多様化する課題を解決に導くために地域福祉計画（行政計画）・同活動計画（社

協民間計画）を一体的に策定し、令和8年度中の策定を目指しています。あわせてこの計画では、「公助」（行政）だけでなく、「自助」「互助」「共助」を組み合わせたアプローチを計画的に推進していきます。

本会は、中核的な立場で包括的に関わる体制が必要になるなかで、町地域共生室や福祉関係者とのネットワークを大切に、幅を広げ支援をしています。まさに、われわれはつながりづくりのプロとして、住民一人ひとりが地域社会の一員となり日常生活を営み、社会参加する機会が確保されるような、誰もが安心して暮らせる地域社会（地域共生社会）を実現するため職員一丸となって取り組んでまいります。

重点項目

1. 法人運営
2. 地域福祉事業の推進
3. 相談・援助事業の推進
4. 受託事業の運営
5. 募金活動の推進
6. 在宅福祉事業の運営
7. 地域住民からのニーズ事業の実施

事業実施項目

1. 法人運営
 - ① 法人運営の経営体制の強化を図ります。
 - ② 会員制度の推進並びに会費の増強を図ります。
 - ③ 社会福祉協議会の役割や活動を周知し、福祉活動への町民参加を促進する広報活動の強化を図ります。
 - ④ 役員・職員の資質向上のため研修に取り組みます。
 - ⑤ 各種関係機関・団体との連携強化を図ります。
2. 地域福祉事業の推進
 - ① 〈老人福祉活動事業〉
 - 身近な地域で福祉サービスを受受できる地域づくりを進めます。
 - ・サロン事業（高齢者サロン）
 - ・安否確認（ほのぼの便、歳末援護事業（まごころ訪問）
 - ・お風呂サロンの開催
 - ・給食サービス（第1、3日曜）、配食サービス（第2、4、5日曜）の実施
 - ・安心配達事業の実施

を図ります。

- ・福祉体験教室の開催
- ・福祉協力校の育成及び活動への助成

- ④ 〈障がい児・者福祉活動事業〉
 - ・児童生徒の福祉参画を促進
 - ・障がい者（児）の自立と社会参加を促進し、みんなの理解を深め交流の輪を広めます。
 - ・たまリンピック
 - ・手話つちかフェ
 - ・シップスハーモニー&はっぴいサークルの開催

3. 相談・援助事業の推進
 - ① 福祉相談機能の充実強化を図り、関係機関との連携のもとに問題解決に努めます。
 - ② 生活福祉資金及び世帯更生資金の有効活用を図り、低所得者世帯の生活安定と福祉向上に努めます。
 - ③ 日常生活を営むのに支障がある方に対し、福祉サービスの利用に関する相談・助言や、手続き・支払い等の援助を行います。

4. 受託事業の運営
 - ① 高齢者福祉、青少年の育成、その他公共的活動の移手段としたバス運行を行います。
 - ② 住民の外出支援のためのバス運行

（オンデマンド方式

による元気バスの運行）

- ③ 各種福祉団体事業の運営を行います。

- ・民生委員児童委員協議会の運営
- ・老人クラブ連合会、町身体障害者福祉会、手をつなぐ親の会、町母子寡婦福祉会、町遺族会の5団体
- ④ 高齢者等交通安全対策事業（免許返納）
- ⑤ 生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター事業）
- ・ 独居高齢者支援事業びんの会の開催
- ⑥ 災害ボランティアセンター事業
- ⑦ 生活困窮者自立相談支援事業

5. 各種募金活動の推進
 - ① 日本赤十字社募金の積極的協力、地域福祉活動の財源確保に努めます。
 - ・ 日赤募金（5月）
 - ② 共同募金活動を積極的にを行い、地域福祉活動の財源確保に努めます。
 - ・ 共同募金委員会（10月）
 - ・ 歳末助け合い募金（12月）
 - ・ 三重の赤い羽根共同募金百貨店プロジェクト
 - ・ UMOUプロジェクト
 - ③ 災害義援金への協力・活動を行います。

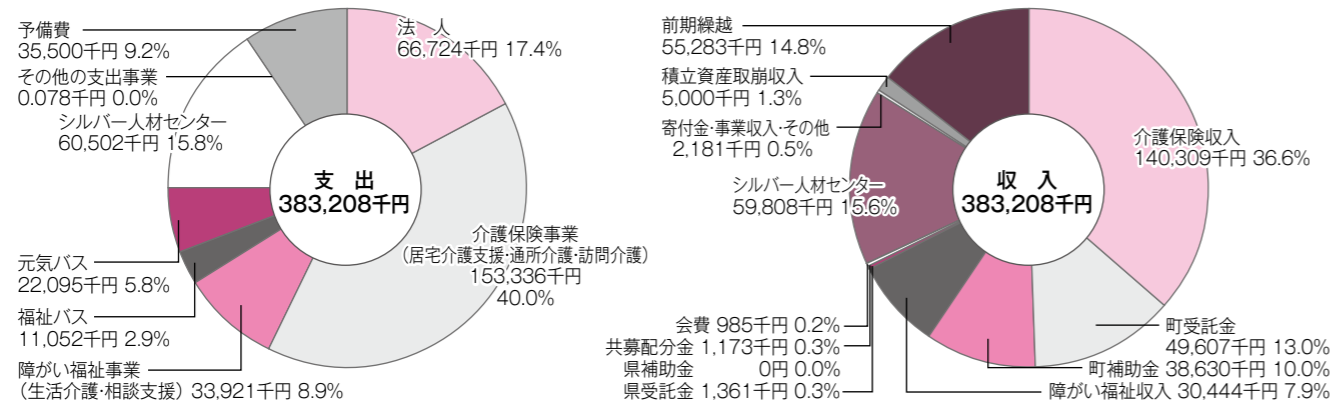
（地域活動支援町単独事業）

ます。

6. 在宅福祉事業の運営
 - ① 介護保険サービス提供体制の充実強化を図るとともに、職員の資質向上に努め、良質で安定した介護保険サービスの提供を行います。
 - ・ 介護給付（居宅・通所・訪問介護）
 - ・ 予防給付
 - ② 障害者総合支援法及び児童福祉法に基づくサービス提供体制の充実強化を図るとともに、職員の資質向上に努め、良質で安定した障害者（児）サービスの提供を行います。
 - ・ 生活介護事業（夢工房たまき）
 - ・ 開所時間の拡大 17:30まで
 - ・ 相談支援事業（みらい）
 - ・ 居宅介護事業（ホームヘルプサービス）
 - ・ 移動支援事業（ホームヘルプサービス）
 - ③ 安全安心な移送サービスを提供します。

7. ニーズ事業の実施
 - ① 地域住民のさまざまなニーズに対し、開拓性、創造性、即応性をもった事業を行います。
 - ・ 福祉有償運送事業
 - ・ シルバー人材センター事業の運営

令和8年度 玉城町社会福祉協議会収支予算



- ・ 楽笑会の開催
- ・ ちよこつと有償ボランティアの充実

② 〈福祉育成・援助活動事業〉
積極的に社会参加できる環境づくりに努め地域福祉事業を強化します。

- ・ 元気ですたまき委員会の運営
- ・ 第4期地域ふくし力向上計画の周知・啓発、あいさつ運動（明るく声かけ玉城の日）、あいさつ人及びあいさつ場所の拡充、地域福祉座談会の開催、元気ですたまき体操の推進（オリジナル健康体操）
- ・ 車いす及び物品貸し出し事業
- ③ 〈ボランティア活動育成事業〉ボランティア活動及び福祉教育を推進します。
- ボランティアを養成し、登録者の拡充と活動を支援します。
- ボランティアセンター活動の充実
- ボランティア講座を開催し、意識の啓発、情報の提供
- 防災ボランティア、災害ボランティアの養成と災害ネットワーク支援事業の展開
- わが町クリーンアップの活動
- 町内の全学校を福祉協力校に指定し、児童生徒の福祉意識の高揚と活動への積極的な参加促進

令和8年度 玉城町ボランティアセンター登録団体

健康しあわせ委員会

玉城町のみなさんの健康長寿を目指し、『健康』『しあわせ』の輪を広げる活動をしています。

現在はフレイルしあわせサポーター（愛称）としてフレイル予防の取り組みを重点において活動しています。



絵手紙サークルゆずりは会

現在 10 名の会員で季節の花、野菜、歳時記等をテーマに描いた絵手紙を、毎月約 90 枚作成し、各地区の民生委員の方を介して、独居老人の希望される方に届けています。

これからも、「喜び」や「元気」が伝わる絵手紙作りに努めてまいります。

なお、会員募集中ですので興味のある方はご連絡ください。



玉城町には地域福祉を推進していくボランティア団体がたくさんあります。それぞれの団体は、それぞれの目的をもって活動していますが、地域ふくし力向上のために、強い絆でつながって活動しています。興味を持たれた方はぜひ活動にご参加ください。連絡先記載の団体は直接ご連絡いただければ、ボランティアセンターにご連絡いただければ、各団体へおつなぎ致します。
ボランティアセンター（☎58-6915）

はな♪はな♪おはなし会

赤ちゃんから小学生さんを対象に、福祉会館、町内4つの保育所及び小学校、玉城町図書館で絵本と紙芝居の読み語りをしています♪玉城っ子が心豊かに育ちますように。



玉城町虹の会

社協主催のひとり暮らしの高齢者への昼食弁当作りを配達、夢工房たまきやその他の社会事業のイベントのお手伝い等しています。

お互いを尊重し助け合いながら生き生きした活動を送りたい人達の集まりです。

ボランティア活動を通して、明るく元気で住みよい町になる事を願いながら活動しています。虹のように美しい輪をつなげてくださいますよう、会への参加お待ちしております。（昼食弁当作りだけでも大歓迎です）



サポーターさくら

認知症に対する正しい知識や理解を持ち、地域で認知症の人や、その家族に対して出来る範囲でお手伝いする自主活動グループです。

町内外での認知症サポーター養成講座を中心に活動の輪を広げています。

私達と一緒に活動していただく方を募集中です。

[連絡先]
サポーターさくら事務局
(合同会社たまきあい)
☎ 58-2251



マジックふらわあ

福祉施設、児童館、老人会、各種イベント等でマジックを披露しています。

簡単で楽しいマジックです。いつでも、どこへでも「マジックの出前」をします。尚、ボランティアですので、特に準備等して頂く事はありません。気軽にご連絡ください。



玉城町食生活改善推進協議会

子どもから高齢者までのバランスのとれた食生活の定着を目的に自主的な活動と行政への支援活動の両面から、食を通じた健康づくりのボランティア活動と会員の運動をしています。



玉城町おもちゃ病院

動かなくなったもの、音の出なくなったもの等、不具合が生じたおもちゃの修理をしています。手先の器用な方、電気・機械的なものに興味のある方、大歓迎です。



玉城語り部会

玉城町の歴史・文化を学ぶ活動をしています。田丸城、熊野街道などの案内もしていますので、お声をかけてください。



青色回転灯ボランティアパトロール

青色回転灯ボランティアパトロールとは？

「安心して暮らせる町」を目指すために、ボランティアの方々によって構成されています。

活動内容は、第1・第3月、金曜の午後、町の青色回転灯装着車両に乗車し、町内を犯罪抑止・防犯活動パトロールしていただいております。



玉城町防災ボランティア

小学4年生から中学生まで、また防災活動を推進する行政の方々、地域の方々と一緒に防災活動に取り組んでいます。ポリ袋炊飯や簡易トイレの組み立て、防災倉庫の見学、新聞紙スリッパづくりや避難所運営ゲーム、タウンウォッチング、ロープワーク等に至るまであらゆる防災訓練に取り組んでいます。また防災コーディネーターや防災士の資格取得にも力をいれています。是非皆さんも私たちと一緒に防災活動しませんか。



「つながり(たすけあい)」

元気ですたまき委員会では、みんなが安心して元気に生活できる町づくりを目指しています。そこでみんなが笑顔になるような「福祉の標語」を、青少年を育てる会、健康しあわせ委員会と共同して、子どもから大人まで広く募集を行いました。応募総数1,194通の中からそれぞれ小学生の部、中学生の部、大人の部に分けて審査し、選ばれた作品は以下のとおりです。

- ※元気ですたまき委員会とは…
社会福祉協議会が設置する地域福祉を推進する委員会です。
- ※健康しあわせ委員会とは…
保健福祉課が設置する町民への健康づくりを啓発する委員会です。
- ※青少年を育てる会とは…
次代の郷土を担う青少年の健全育成を図ることを目的とする団体です。

大賞 (敬称略)

- さしのべた手 いつのまにか 笑顔の輪**
小学生の部 東條 快晟(有田小6年) ・不安な時に声をかけ合えたらみんなが幸せ。
- あなたの助けが 回り回って あなたにもどる**
中学生の部 掛橋 智陽(玉城中2年) ・たすけあいはたすける人にとってもいいこと。
- たがいに気づき まごころそえて きずなを育む玉城のちから**
大人の部 横井 沙弥佳 ・地域ぐるみでの支えあいをイメージしました。

元気ですたまき委員会賞 (敬称略)

- スマイルで ひろがる元気 まちじゅうに**
小学生の部 中山 柊希(外城田小6年) ・笑顔は、まち全体に広がっていく。
- つながろう たまきのこころ たからもの**
中学生の部 西村 比呂(玉城中3年) ・みんなでたまきちょうを大切にしていこう。

- お互いに、許す心が 花ひらく**
大人の部 南 晶子 ・子供にも大人にも、納得いかない事があつたり腹立つ事があると思います。でも、いつもそんな事ばかりしてたら困った時に誰も助けてくれません。だから、誰かの嫌な所を見つけるのではなく苦手な人でもいい所を見つけて寄り添い、困った時はお互い様になれるようになればいいなと思ってこの言葉を選びました。許す心と言うか、相手を理解しようとする気持ちを持るととっても楽になります。そうすると、周りにも優しくなれるし、笑顔が溢れます。私は子供達に、強く育てほしいしすぐに手を差し伸べられる行動力と優しい心がある人に育ててほしいです。ですのまずは、自分から。相手の考え、気持ち、背景を一度に自分に取り組み、理解した上で、手を差し伸べ寄り添える人になりたいと思います。

青少年を育てる会賞 (敬称略)

- ひとりじゃないよ なかまといっしょ**
小学生の部 田中 斗紀(外城田小2年) ・ともだちがこまっているときに思いました。
- 思いやり つながる先は みんなの笑顔**
中学生の部 山川 咲季(玉城中3年)
・互いを尊重し、相手を気遣う心が人々のつながりを深め、幸福な社会を築くための大切な要素である思い。

- 勇気の一言 孤独^{ゼロ}**
大人の部 西野 吉彦 ・いたわりの一言をかけてお互いを知り合う事がつながり、たすけあいの第一歩になるのでは。

健康しあわせ委員会賞 (敬称略)

- 少しの勇気で 小さな手でも 大きな助け**
小学生の部 吉川 羽希(田丸小5年)
・自分の力は小さくても、勇気を持って行動すれば、だれかに役に立つことができると思いました。
- 「助けて」を みんなで一緒に うけとめる**
中学生の部 東出 悠愛(玉城中3年) ・だれがの SOS を全員でうけとめ、助け合うことが必要だと思いました。
- あいさつは 人とを繋ぐ虹色の明日へ**
大人の部 宮嶋 浩一 ・玉城町で第三火曜日に実施されます「明るく声かけ玉城の日」であいさつに参加してみなさんに声掛けすると笑顔で元気な「おはようございます♪」との心を繋ぐあいさつが返ってきます。継続は力なりと申します。今後もこの運動がますます広がっていくことを目指してみんなで顔晴りましょう。

真冬の防災講座&避難所宿泊体験 防災キャンプ開催

南海トラフ地震や津波、頻発する台風や局地的大雨等の自然災害から自分自身を守るために、体験型防災学習を通して、防災の知識を身に付けることを目的に1月17日〜18日、町保健福祉会館ふれあいホールにて防災ボランティア主催の防災キャンプを開催し、11名の方にご参加いただきました。



ポリ袋炊飯

ていただき実際に調理を行いました。参加者からは「火を消す体験をしたことがなかったので、できてよかった」「普段疑問に思っている事を聞きながら体験できた」などの声が上がりました。

宿泊コースの方はクッキングの後、防災講座として、水消火器訓練とロープワーク、簡易トイレ組み立て体験を行いました。

その後、寝る準備を行い、22時消灯。初めて会う人同士が同じ場所で寝るといふ非日常的な体験をする事ができました。

翌日6時起床。ラジオ体操で身体を起こし、朝食には非常食のアルファ米を食べ、宿泊して感じたことをみんなで共有して終了しました。

地域で楽しく笑顔の交流会

お一人暮らしの高齢者を対象に、世代間交流として開催しています。今年度は有田小学校と外城田小学校で実施されました。

- ・有田小学校
- ・4年生29名、お一人暮らしの方12名
- ・外城田小学校
- ・3年生41名、お一人暮らしの方13名

グループに分かれ、子どもたち考案のゲームが行われました。高齢者の方からは「小学校に行っ

て新鮮な気持ちで楽しかった」という声もあり、終始楽しく笑顔が絶えない交流会となりました。



ボール転がしゲーム

防災ボランティアが 防災まちづくり大賞を受賞

防災ボランティアが第30回防災まちづくり大賞(日本防火・防災協会長賞)を受賞しました。

代表の松山稔さんは、「これまでの活動が評価され、名誉な賞に繋がった。今後も継続して活動したい」と話しました。

防災まちづくり大賞は、阪神・淡路大震災を契機に創設され、地域に根ざした団体

などの防災に関する優れた取組を表彰し、全国に広く紹介することを目的とした制度で、今回で30回目を迎えます。



第30回 防災まちづくり大賞 表彰式

表彰式(東京)

「もしもの時どうする?」小学生が避難所運営を ゲームで体験

玉城町防災ボランティアは、体験型の防災学習を通じて、子どもたちに防災意識を高めてもらうことを目的に防災体験学習を実施しています。

3月3日、有田小学校の6年生34名を対象に、「避難所運営ゲーム(HUG)」を実施しました。HUGとは、災害時に避難所で起こりうるさまざまな出来事を想定しながら、避難所をどう運営していくかをグループで考えるゲームです。

避難所運営ゲームに参加した児童からは、「色々な人がくるから自分もできることは手伝いたい」「中学生になってもこの体験を忘れず人のために動きたい」などの意見もあがり、避難所を疑似体験することで、防災意識を高めることに、協力・思いやりの心の大切さを学ぶ貴重な機会となりました。



避難所運営ゲーム体験

◆◆◆ 元気ですたまきまつり ◆◆◆

～ 笑顔で元気に「和っはは～輪っはは～」～

日時 / 令和8年6月7日(日)
10:00～14:00(雨天決行)

場所 / 玉城町保健福祉会館

福祉のイベントとして地域の方々に楽しく、また身近に福祉・ボランティアの大切さを感じていただくことを目的に開催します。

- ・福祉施設・ボランティアの活動啓発
- ・地域でのさまざまな活動のPR
- ・スタンプラリー ほか



ご寄付 いただいた方のご紹介



伊勢農業協同組合様に食料品をご寄付いただきました。

今後、生活困窮者支援や地域福祉活動、介護保険事業に役立てていきたいと思っております。

ご寄付いただきありがとうございました。

新しく民生委員が 委嘱されました

(敬称略)



蚊野、松ヶ原、野篠
北村 洋子



第1・2城東団地
青山 久美子

身近な社協の相談窓口ご案内

何でも相談(予約不要)

日時: 毎月10日、30日 13:00～15:00

場所: 玉城町保健福祉会館にて

相談員: 民生児童委員、人権擁護員、行政相談員

明るく声かけ玉城の日(毎月第3火曜日)

家庭・地域・学校・職場

いつでも・どこでも・だれとでも

あいさつの輪を広げていきましょう。

ご寄付ありがとうございました(1月～3月)

阪井 昌子様	10,000 円
カラオケリズム様	16,829 円
匿名様	5,000 円
元気バス募金箱	102,276 円

玉城町社会福祉協議会の情報を発信中!!

ホームページ



YouTube
チャンネル



フェイスブック

